
福島県内企業アンケート調査結果概要

令和6年9月4日
福島県復興・総合計画課

福島県内企業アンケート調査結果概要

○調査目的

福島県内の企業を対象に、女性の採用意向や採用活動、職場の女性活躍やワーク・ライフ・バランスの取組状況などを調査し、女性の県内就業及び定着を図る上での課題を明らかにする。

○期 間：令和6年5月30日（木）～令和6年6月14日（金）

○対 象：従業員10名以上の福島県内企業2,000社

※「令和3年経済センサス－活動調査（事業所に関する集計）」の産業中分類別及び地域別の構成比をもとに無作為抽出

○調査方法：郵送紙面調査

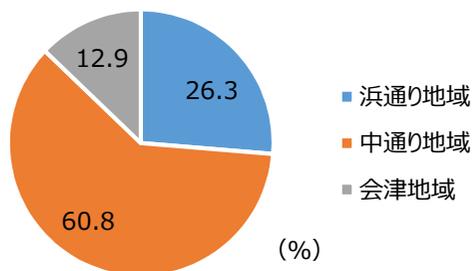
○回答件数：840件

○主な調査項目

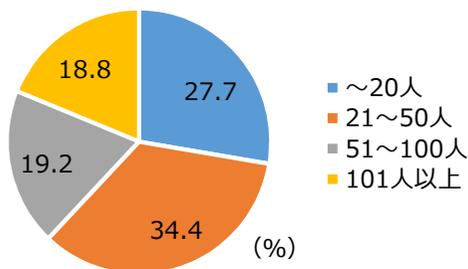
- 1 若年女性の採用状況
- 2 女性活躍及びワーク・ライフ・バランスの取組状況
- 3 地域とのかかわり

回答企業の基本情報

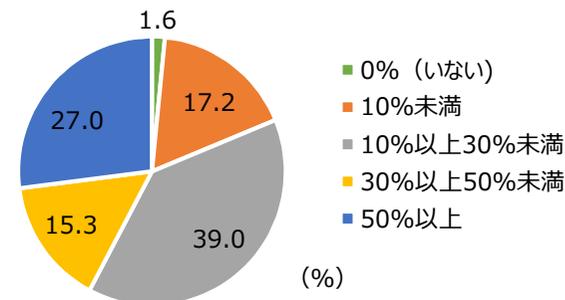
<事業所所在地内訳>



<全従業員数内訳>

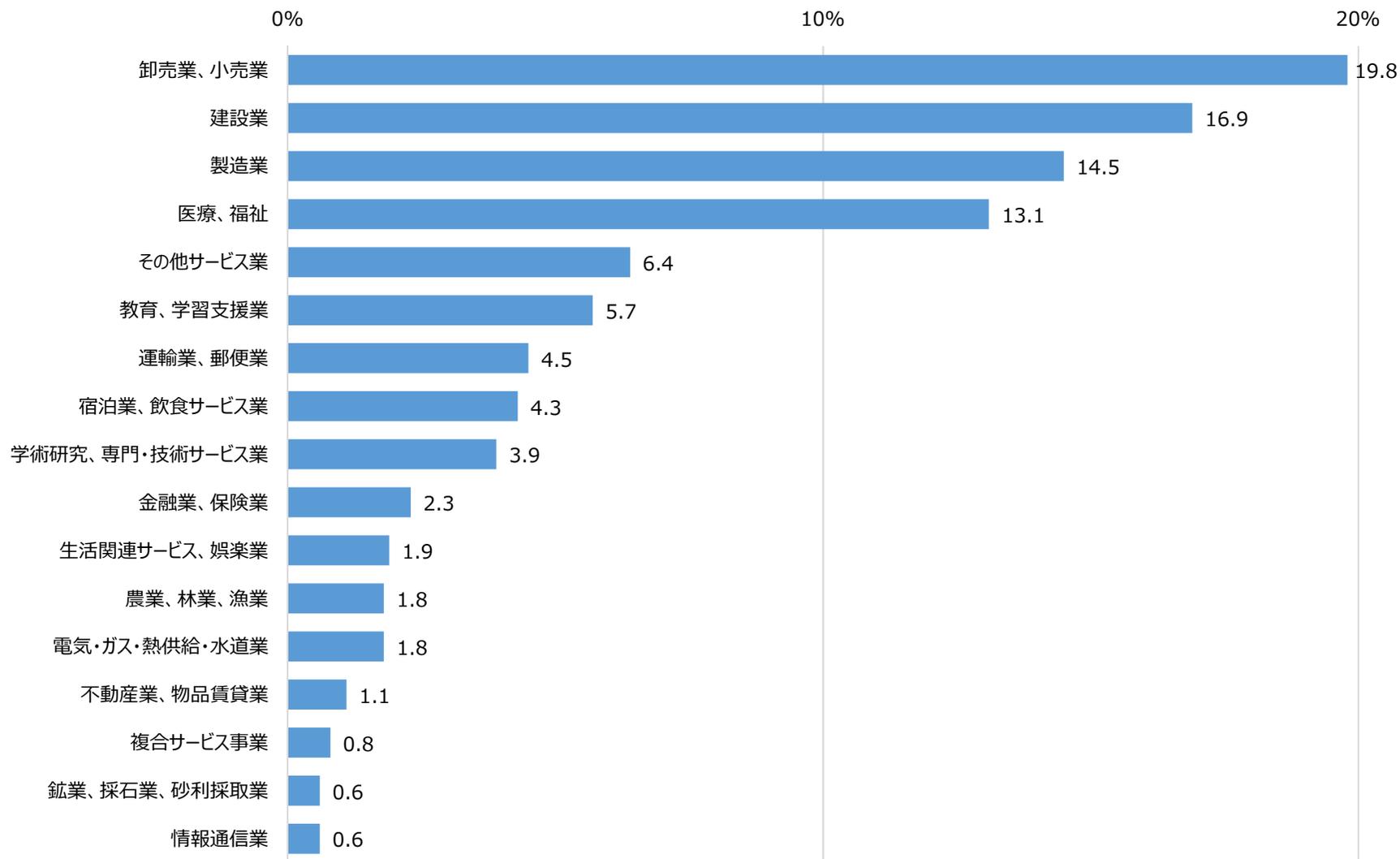


<正社員に占める女性割合内訳>



福島県内企業アンケート調査結果概要

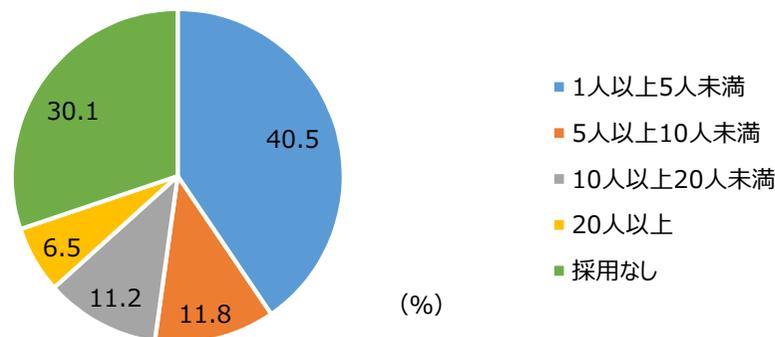
<業種内訳>



1 若年女性の採用状況

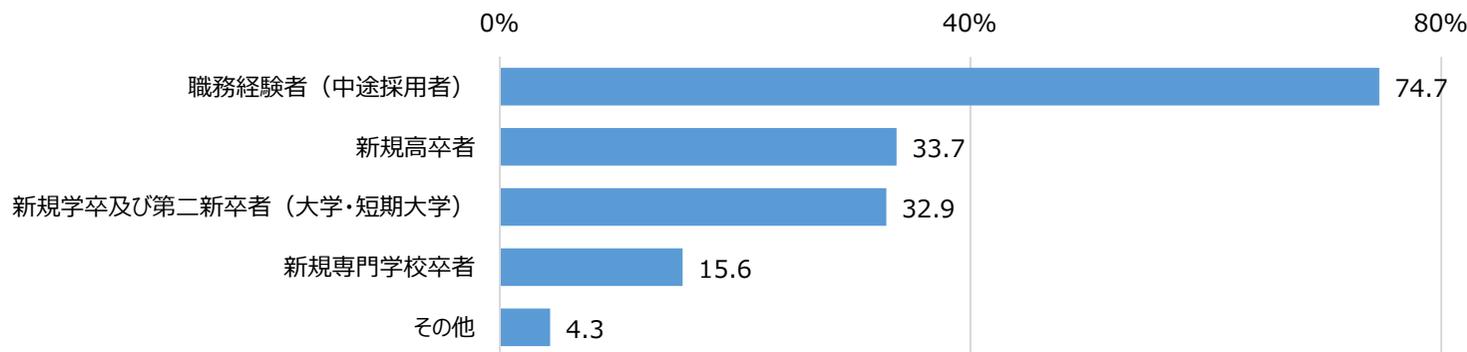
- ①直近5年間（令和元年度から令和5年度）の若年女性（30代以下）の合計採用人数を教えてください。
○若年女性の合計採用人数をみると、「1人以上5人未満」（40.5%）が最も多く、「採用なし」（30.1%）、「5人以上10人未満」（11.8%）が続いた。

（単一回答）



- ②直近5年間の若年女性（30代以下）の採用状況について、採用があった対象者を教えてください。
※1-①の問いに「採用した」と答えた企業が回答
○採用があった対象者をみると、「職務経験者（中途採用者）」（74.7%）が最も多く、「新規高卒者」（33.7%）、「新規学卒及び第二新卒者（大学・短期大学）」（32.9%）が続いた。

（複数回答）



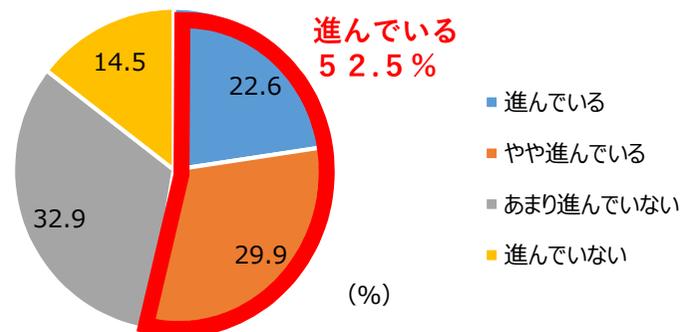
1 若年女性の採用状況

③これまで若年女性（30代以下）の採用は思い通り進んでいますか。

※1-①の問いに「採用した」と答えた企業が回答

○若年女性の採用の進捗状況を見ると、「進んでいる」（「進んでいる」「やや進んでいる」の合計）は52.5%、「進んでいない」（「あまり進んでいない」「進んでいない」の合計）は47.4%となった。

（単一回答）

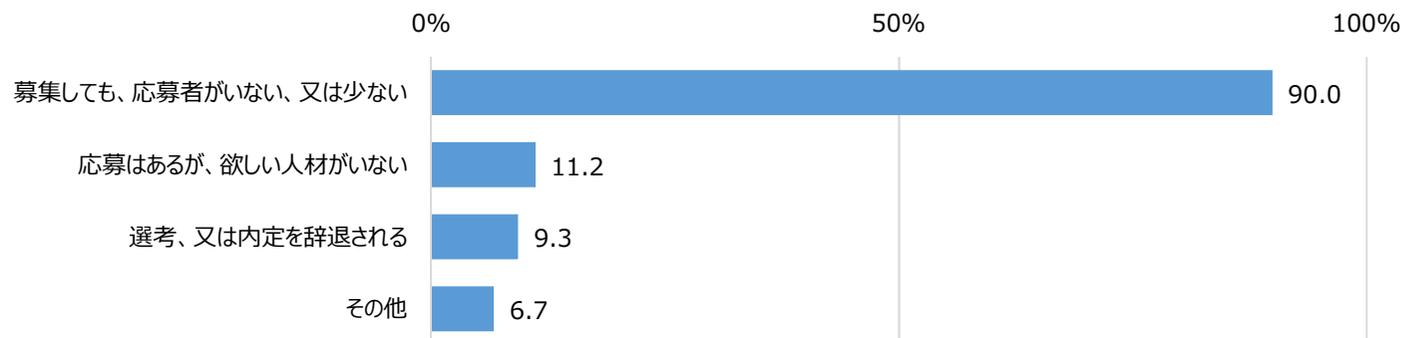


④若年女性（30代以下）の採用が進んでいない理由について教えてください。

※1-③の問いに「あまり進んでいない」、「進んでいない」と答えた企業が回答

○若年女性の採用が進んでいない理由をみると、「募集しても、応募者がいない、又は少ない」（90.0%）が最も多く、「応募はあるが、欲しい人材がいない」（11.2%）、「選考、又は内定を辞退される」（9.3%）が続いた。

（複数回答）

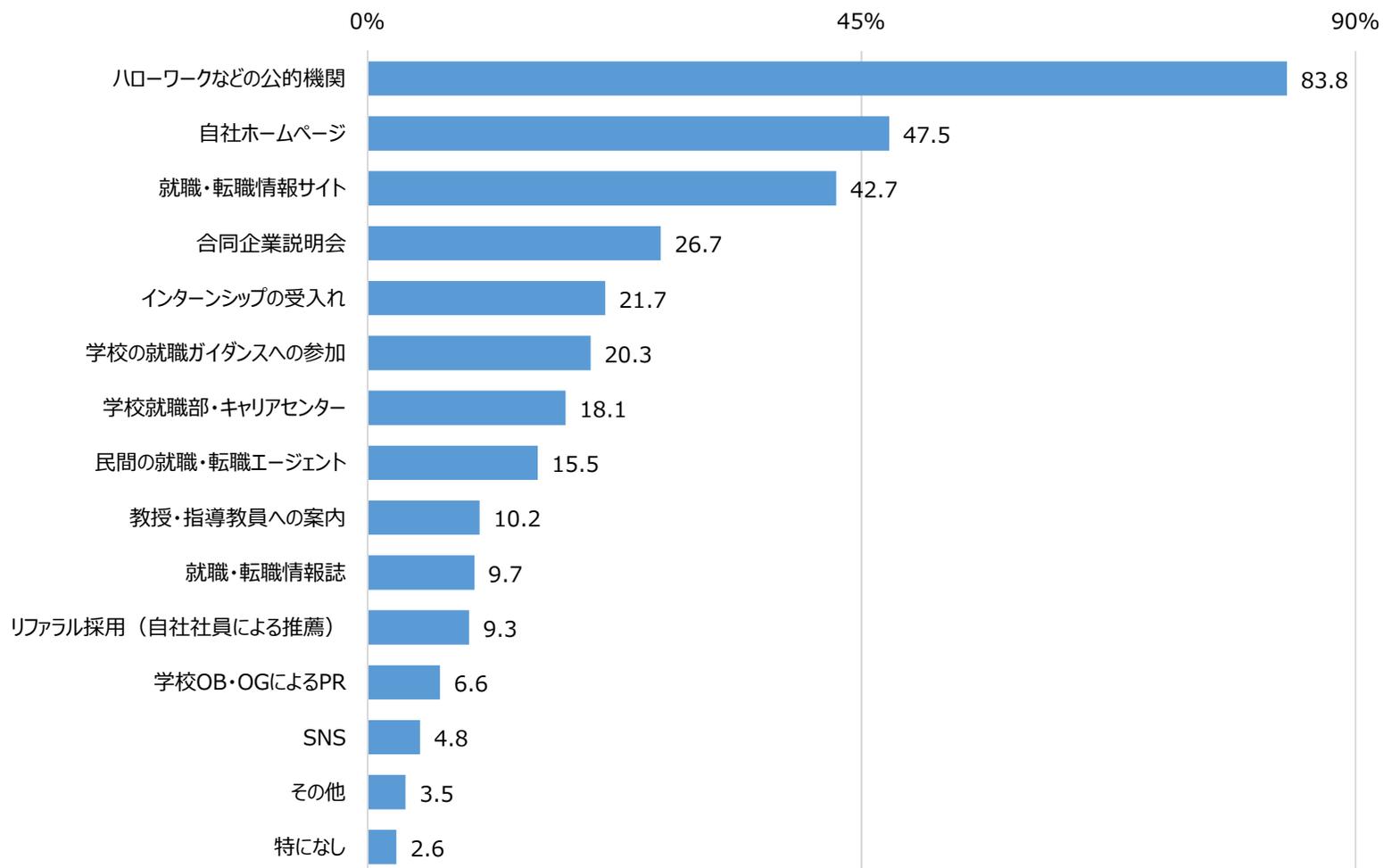


1 若年女性の採用状況

⑤採用活動で活用している手段を教えてください。

○採用活動で活用している手段をみると、「ハローワークなどの公的機関」（83.8%）が最も多く、「自社ホームページ」（47.5%）、「就職・転職情報サイト」（42.7%）が続いた。

（複数回答）

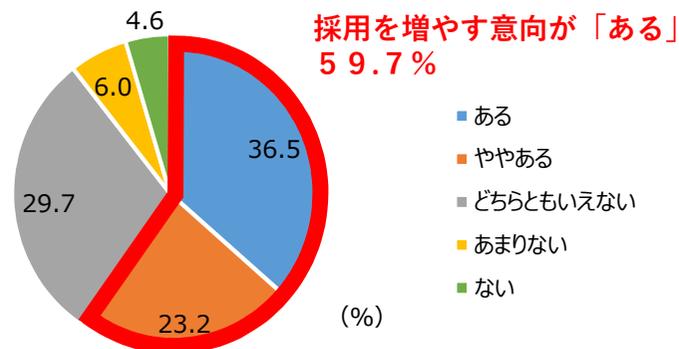


1 若年女性の採用状況

⑥若年女性（30代以下）の採用を増やしていく意向の有無について教えてください。

○若年女性の採用意向をみると、採用を増やす意向が「ある」（「ある」「ややある」）は59.7%、「どちらともいえない」は29.7%、「ない」（「あまりない」「ない」）は10.6%となった。

（単一回答）

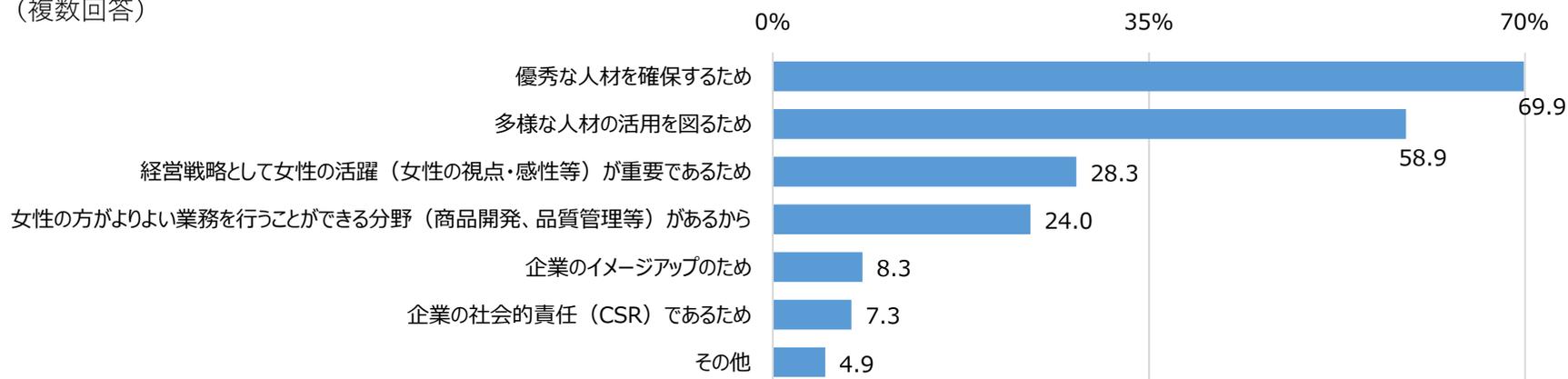


⑦増やしたいと思う理由について教えてください。

※1-⑥の問いに「ある」、「ややある」と答えた企業が回答

○若年女性の採用を増やしたい理由をみると、「優秀な人材を確保するため」（69.9%）が最も多く、「多様な人材の活用を図るため」（58.9%）、「経営戦略として女性の活躍（女性の視点・感性等）が重要であるため」（28.3%）が続いた。

（複数回答）



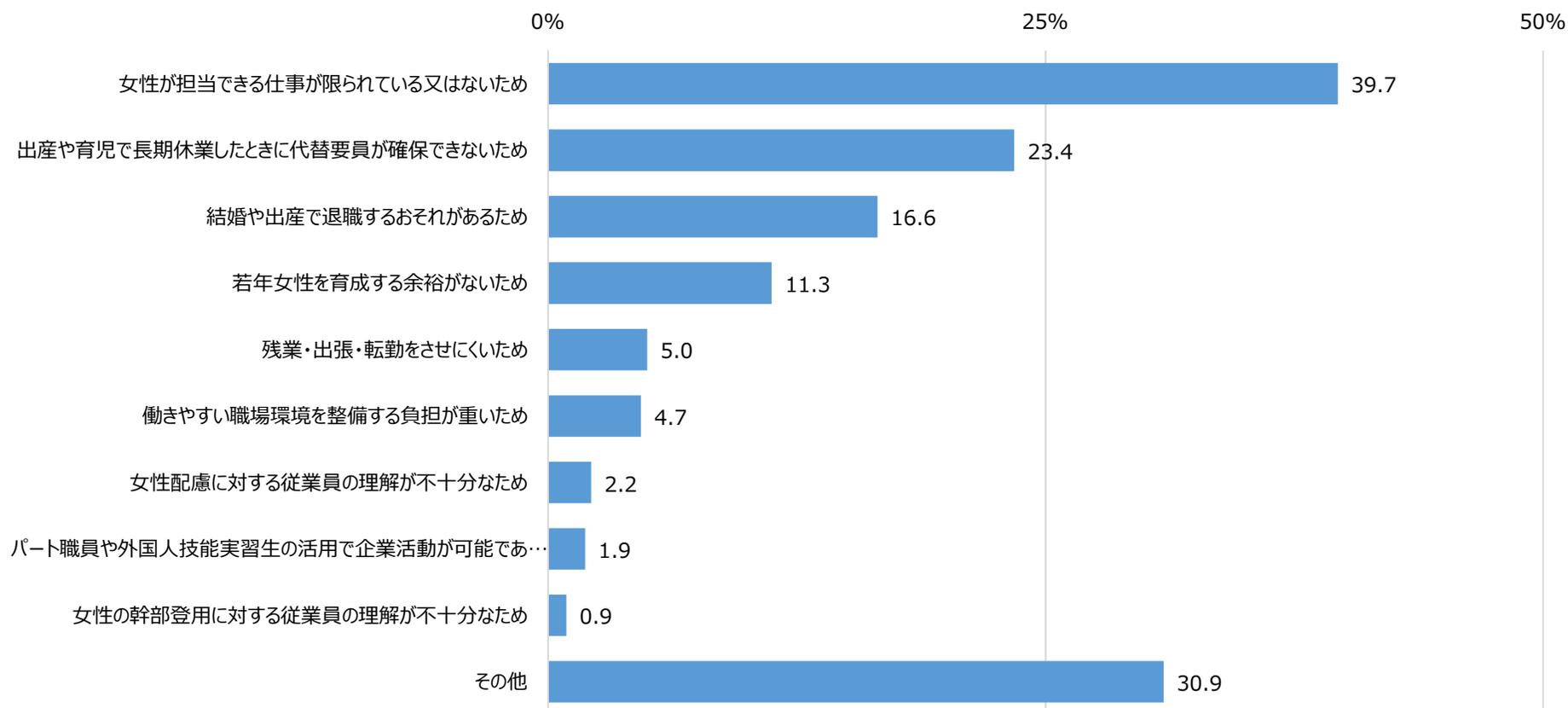
1 若年女性の採用状況

⑧増やしたいと思わない理由について教えてください。

※1-⑥の問いに「どちらともいえない」、「あまりない」、「ない」と答えた企業が回答

○若年女性の採用を増やしたいと思わない理由をみると、「その他」（30.9%）を除き、「女性が担当できる仕事に限られている又ははないため」（39.7%）が最も多く、「出産や育児で長期休業したときに代替要員が確保できないため」（23.4%）、「結婚や出産で退職するおそれがあるため」（16.6%）が続いた。

（複数回答）

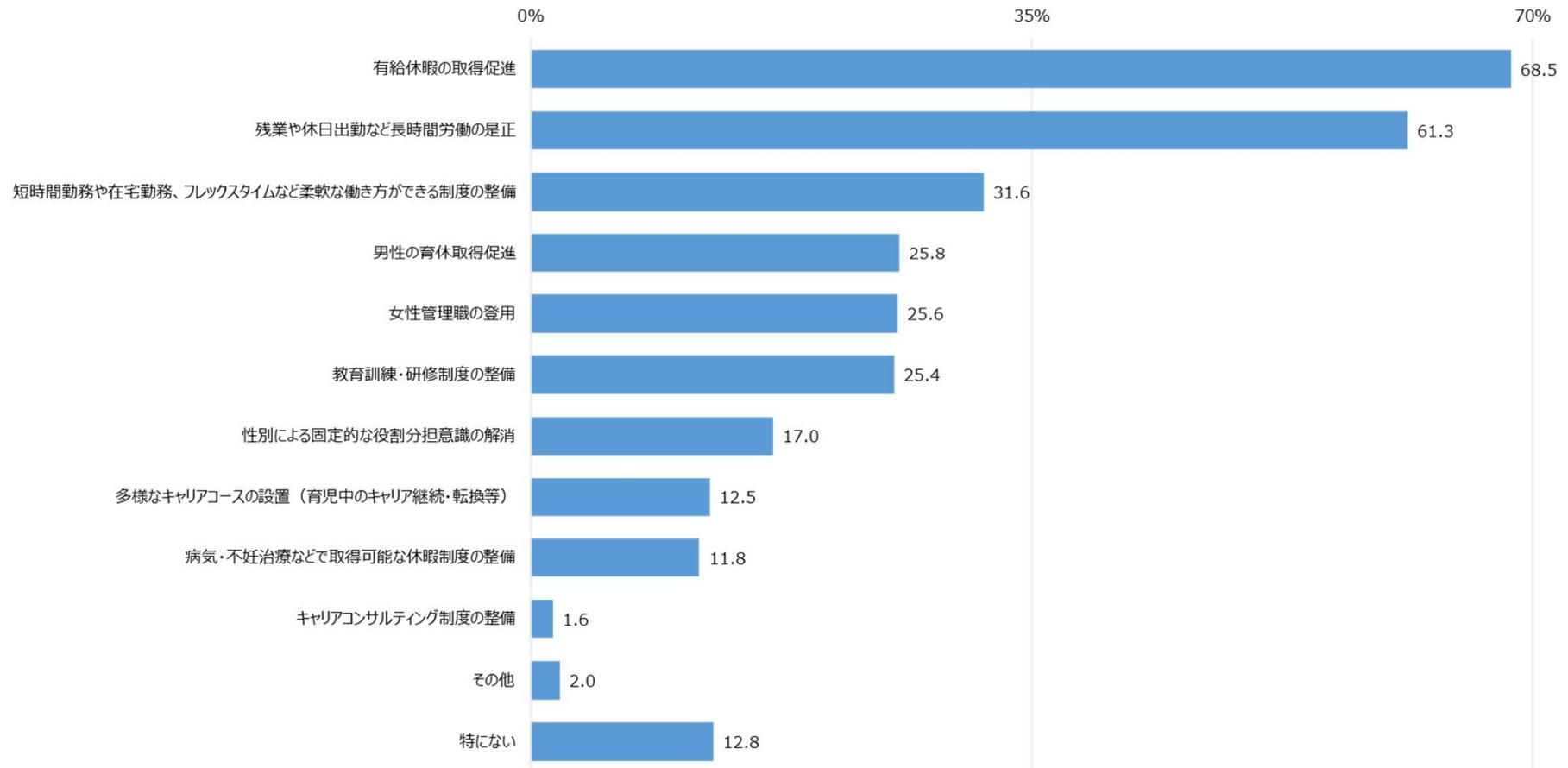


2 女性活躍及びワーク・ライフ・バランスの取組状況

①女性活躍やワーク・ライフ・バランス（以下、「WLB」）を推進するために取り組んでいることについて教えてください。

○女性活躍及びWLBの推進に向けた取組みをみると、「有給休暇の取得促進」（68.5%）が最も多く、「残業や休日出勤など長時間労働の是正」（61.3%）、「短時間勤務や在宅勤務、フレックスタイムなど柔軟な働き方ができる制度の整備」（31.6%）が続いた。

（複数回答）

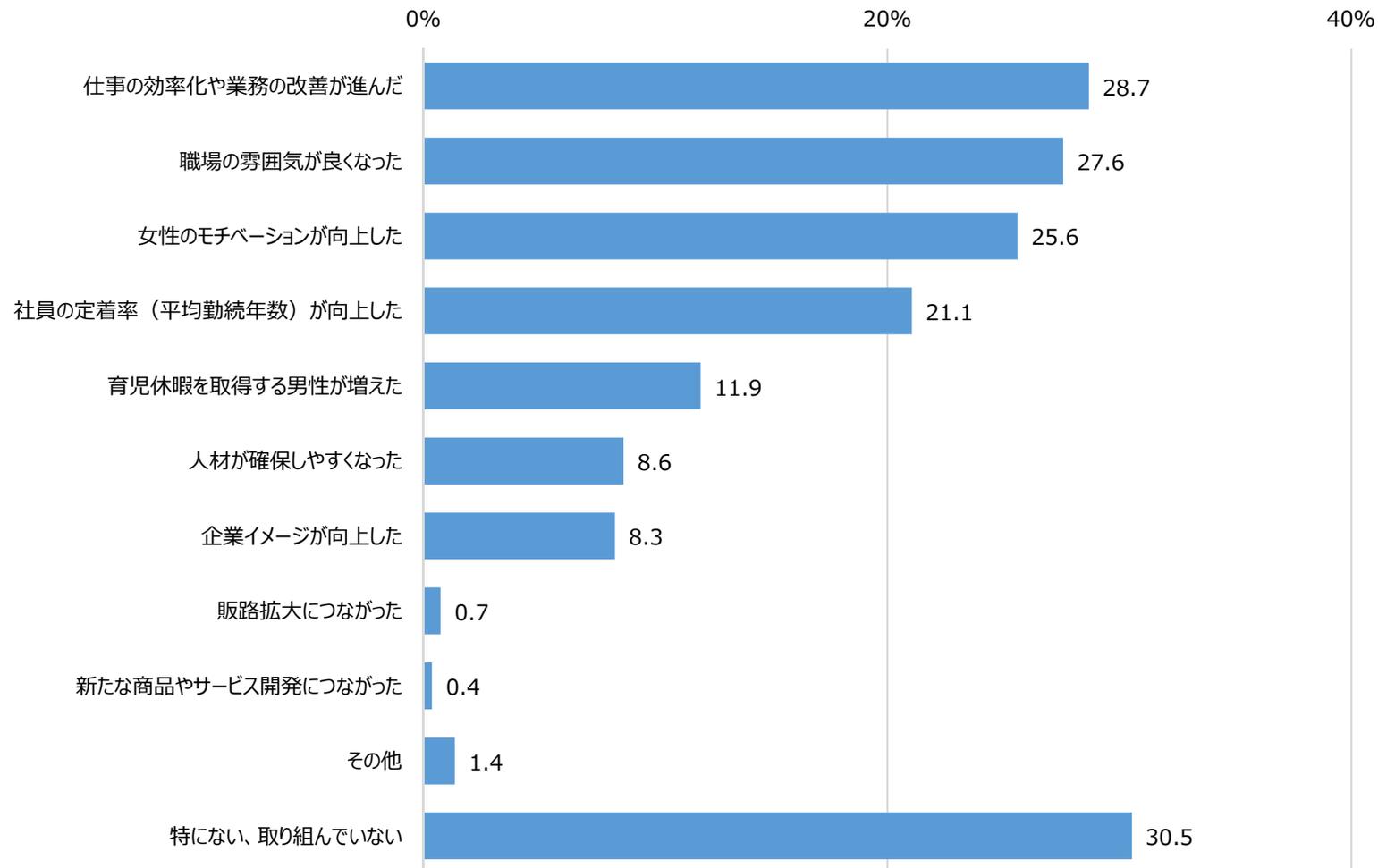


2 女性活躍及びワーク・ライフ・バランスの取組状況

②女性活躍推進やWLBに取り組んだことによるメリットを教えてください。

○女性活躍やWLBに取り組んだことによるメリットをみると、「特にない、取り組んでいない」（30.5%）を除き、「仕事の効率化や業務の改善が進んだ」（28.7%）が最も多く、「職場の雰囲気良くなった」（27.6%）、「女性のモチベーションが向上した」（25.6%）が続いた。

（複数回答）

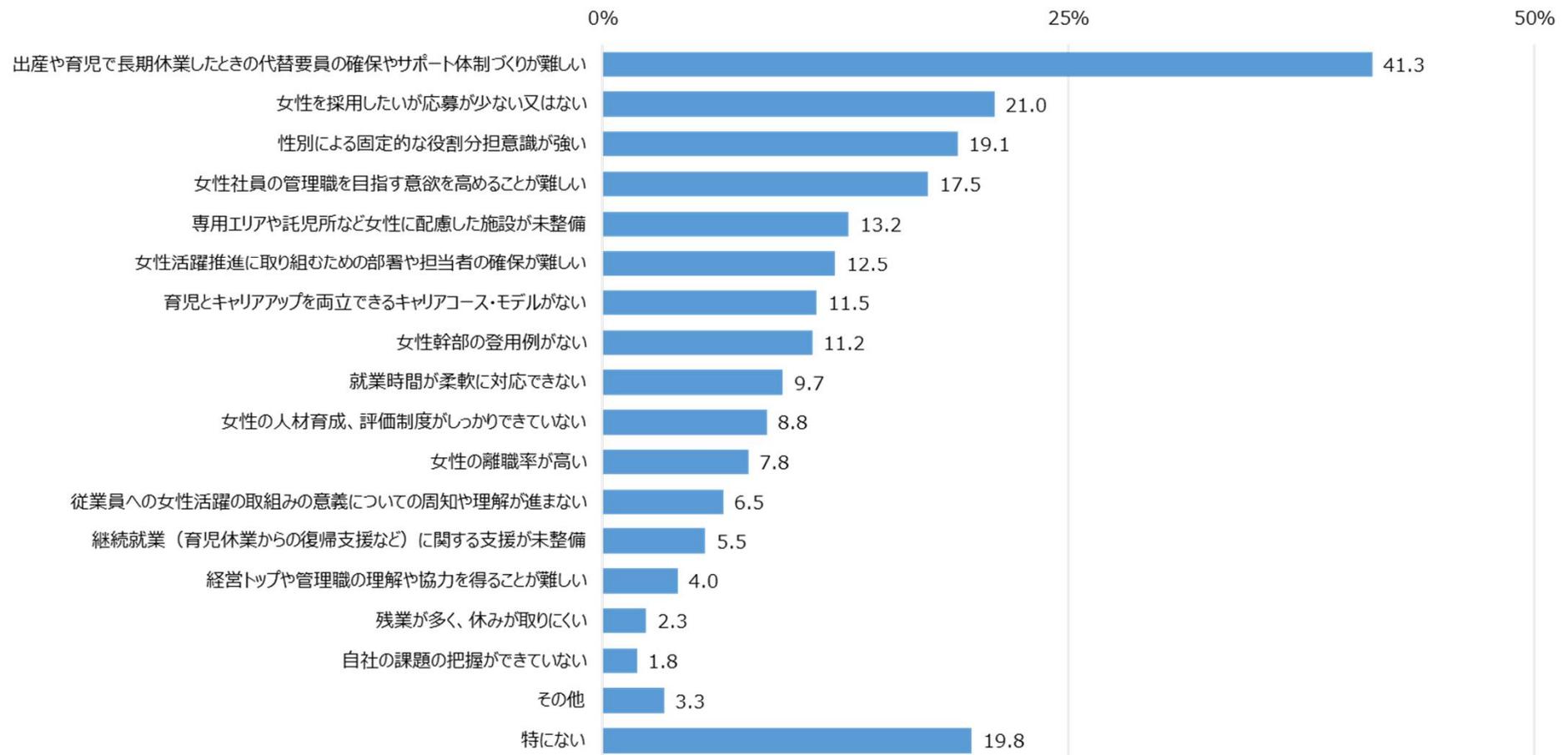


2 女性活躍及びワーク・ライフ・バランスの取組状況

③女性活躍を推進する上での課題について教えてください。

○女性活躍を推進する上での課題をみると、「出産や育児で長期休業したときの代替要員の確保やサポート体制づくりが難しい」（41.3%）が最も多く、「女性を採用したいが応募が少ない又ははない」（21.0%）、「性別による固定的な役割分担意識が強い」（19.1%）が続いた。

（複数回答）

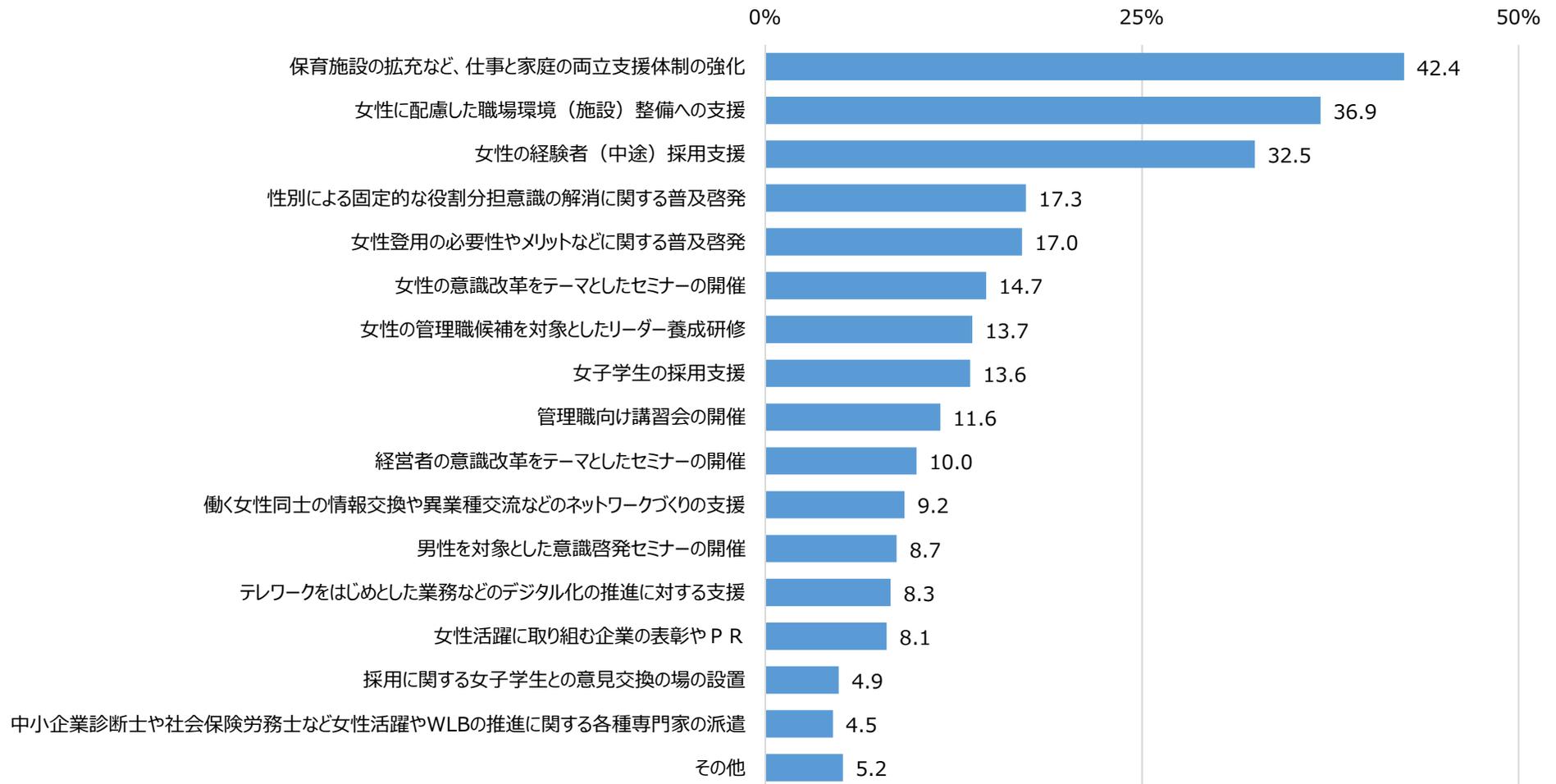


2 女性活躍及びワーク・ライフ・バランスの取組状況

④ 今後、女性活躍を推進するために、行政に期待する施策を教えてください。

○ 女性活躍を推進する上で行政に期待する支援をみると、「保育施設の拡充など、仕事と家庭の両立支援体制の強化」(42.4%)が最も多く、「女性に配慮した職場環境(施設)整備への支援」(36.9%)、「女性の経験者(中途)採用支援」(32.5%)が続いた。

(複数回答)

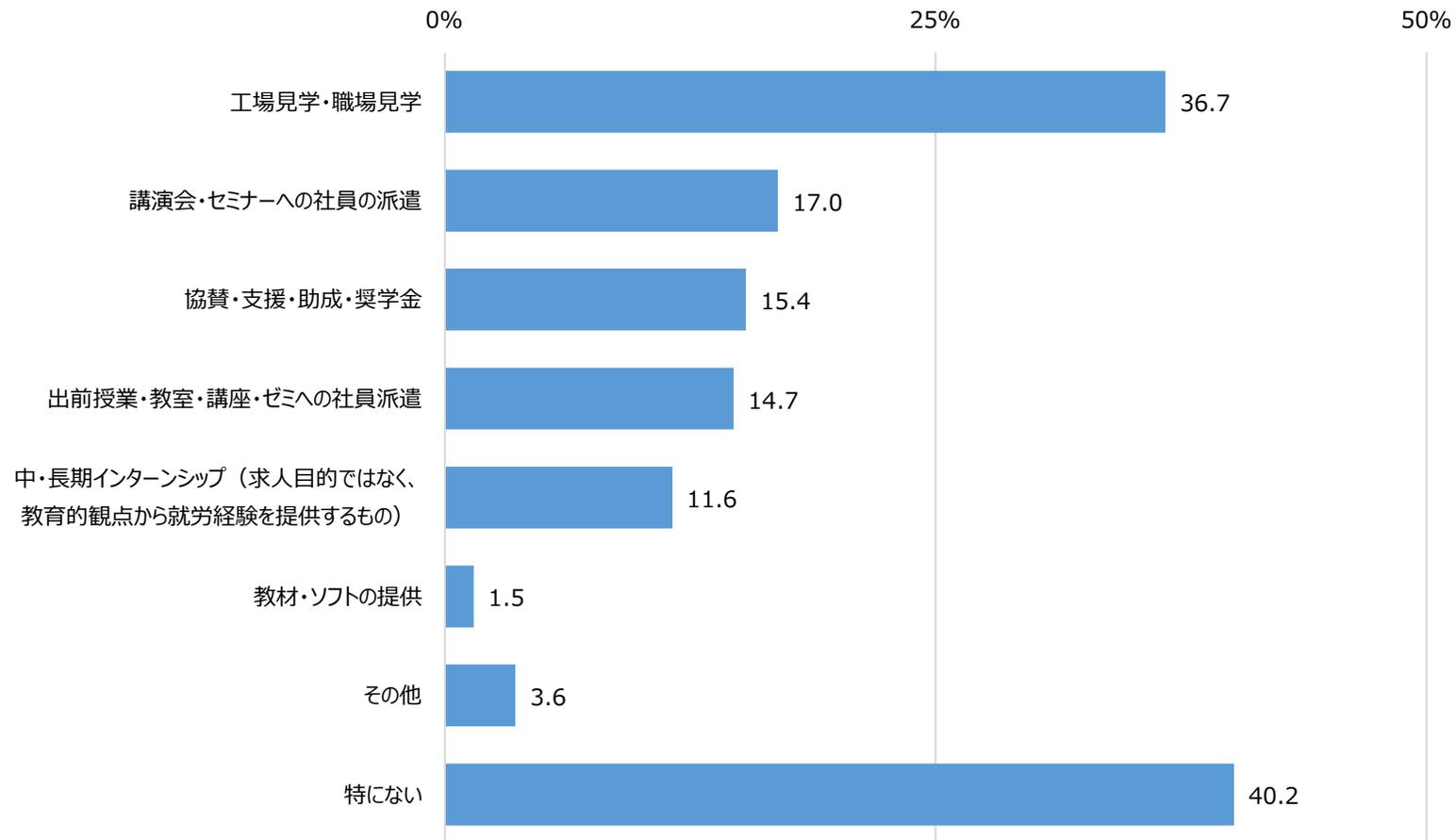


3 地域とのかかわり

①県内の教育機関に協力・貢献している取組みについて教えてください。

○県内の教育機関に協力・貢献している取組みをみると、「特にない」(40.3%)を除き、「工場見学・職場見学」(36.7%)が最も多く、「講演会・セミナーへの社員の派遣」(17.0%)、「協賛・支援・助成・奨学金」(15.4%)が続いた。

(複数回答)



3 地域とのかかわり

②若者の福島県への移住・定住を促進するために、福島県全体（地域や企業）で取り組むべき方策について考えを教えてください。

○若者の福島県への移住・定住促進のために福島県全体（地域や企業）で取り組むべき方策をみると、「地域経済の活性化」（68.0%）が最も多く、「働きたいと思える企業を増やす」（58.3%）、「女性・若者が楽しめる場所や施設を増やす」（43.4%）が続いた。

（複数回答）

